

科目	学年・小学科	単位数
地理	2年・全学科	2
教科書	帝国書院「高等学校 新地理A」、帝国書院「新詳高等地図」	
副教材	第一学習社「最新地理図表GEO」	

1. 学習目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2. 学習方法

- 授業：現代世界の地理的諸課題や地域性について、さまざまな側面から考察する。
- 予習：事前に教科書に目を通すなどして授業内容の確認をしてもらうことが望ましい。
- 復習：授業内容の定着をはかるため、単元終了時に確認テストを実施する。
- 課題：単元終了時や長期休業など、適宜課題を課す。

3. 評価の観点と趣旨

①	関心・意欲・態度	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。
②	思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現する。
③	資料活用の技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。
④	知識・理解	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
⑤		

科目	学年・小学科	単位数
地理	2年・全学科	2

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			①	②	③	④	⑤		
前期中間	1章 地球儀や地図からとらえる現代社会	1節 地球上の位置と国家	地上の現象と地球上の位置 経度の違いと時差 球面と平面の世界	○	○	○			授業態度 発問評価 提出課題 ノート点検 定期考査
		2節 グローバル化が進む世界	国家の領域と国境 日本の領域と領土問題	○			○		
前期末	第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題	2章 1節	生活に影響を与える環境条件とは	○	○				●人々の生活に影響を与える自然環境と社会環境について考察できる。 ●地形を形成する内的営力や外的営力について、その原動力と作用を理解できる。 ●さまざまな地形の成因や特徴を理解し、地形と人間生活との関わりについて考察できる。 ●気候要素やケッペンの気候区分について、理解できる。 ●各気候区の分布地域や特徴、人間生活との関わりについて理解できる。 ●農業形態について理解し、農業の国際化と人々の生活の変化について考察できる。 ●工業の発達と種類を理解し、先進国と発展途上国でさかんな工業の特徴と、その変化について考察できる。 ●世界の主要な宗教の特徴や分布をとらえ、宗教と人々の生活との関わりについて考察できる。 ●グローバル化の進行と身近な生活との関わりを考察するとともに、地域固有の文化を大切にす動きについて理解できる。
		2節	さまざまな変化する大地と生活 世界の大地形と人々の生活 山地・平野の地形と人々の生活 海岸の地形と人々の生活 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活	○	○		○		
		3節	生活と気候のかかわり 熱帯の気候と人々の生活 乾燥帯の気候と人々の生活 温帯の気候と人々の生活 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	○		○			
		4節	生活を支える世界の農業 生活を支える世界の工業	○		○	○		
		5節	生活と宗教・言語のかかわり 生活・文化のグローバル化	○		○	○		
後期中間	3章 世界の諸地域の生活・文化	1節～8節	中国、韓国、東南アジア、インド 中央アジア・西アジア・北アフリカ サハラ砂漠以南のアフリカ ヨーロッパ、ロシア	○	○		○		
		9節～11節	アメリカ合衆国、ラテンアメリカ、オーストラリア	○	○		○		
後期末	4章 地球的課題と私たち	1節	地球的課題			○		●現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解することができる。 ●各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性を図書館やインターネットで調べ、話し合うことができる。 ●さまざまな地図に関心を持って参照し、地図を読むことの楽しさを理解することができる。また、地形図の特徴を理解し、活用することができる。 ●自然災害が多い日本列島で、人々の生活に大きな影響を与える火山災害・水害・地震について、現象やこれまで受けてきた被害を理解するとともに、防災について関心を持って考察できる。 ●地域調査の基本を身につけ、資料収集・現地調査を行い、統計地図やグラフを作成して報告書をまとめることができる。	
		2節	環境問題						
		3節	資源・エネルギー問題						
		4節	人口問題	○					
		5節	食料問題						
第2部 身近な地域の課題	1章	身近にあるさまざまな地図	○		○				
	2章	日本の自然と防災	○		○				
	3章	身近な地域の課題と地域調査	○		○				